

| | | | |
|-----|--|-------|-------|
| 科目名 | 環境都市工学演習（1a） Civil Engineering Exercises Ia | 科目コード | 51350 |
|-----|--|-------|-------|

| | |
|----------|--------------------|
| 学科名・学年 | 環境都市工学科・3年 |
| 担当教員 | 宮崎 靖大（環境都市工学科） |
| 区分・単位数 | 履修単位科目・必履修・1単位 |
| 開講時期・時間数 | 後期, 30時間【内訳：講義 30】 |
| 教科書 | |
| 補助教材 | 配布資料 |
| 参考書 | |

【A. 科目の概要と関連性】

環境都市工学が関連する施設（建設中の施設を含む）や展示の見学を行い、環境都市工学の実際と社会的な役割について学ぶ。

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(C)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|--------------------------|-------|---------------|
| ①環境都市工学の社会的な役割を理解する | - | (c2) |
| ②土木系公共施設の構造的、材料的な特徴を理解する | - | (c2) |
| ③土木系公共施設の施行方法を理解する | - | (c2) |

【C. 履修上の注意】

どのような技術分野でも、実物を見たり、実物に触れて考えることが不可欠である。この授業は、環境都市工学の実際に触れるための機会を提供する。

見学（特に工場現場での見学）に際しては、安全や礼儀に配慮した衣類を着用し、運動靴等を履くこと。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（100%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|-----------------|---------------------|
| 1 | 授業案内 | |
| 2 | 見学（1回目）のための事前説明 | |
| 3 | 見学（1回目） | 第4回と合わせて半日（2回分）の活動 |
| 4 | | |
| 5 | 見学レポート作成 | |
| 6 | レポート作成法（講義と演習） | |
| 7 | 見学レポートの改訂 | |
| 8 | 見学（2回目）のための事前説明 | |
| 9 | 事前学習（関連情報の収集） | |
| 10 | 事前学習（レポートの作成） | |
| 11 | 見学（2回目） | 第12回と合わせて半日（2回分）の活動 |
| 12 | | |
| 13 | 見学レポート作成 | |
| 14 | 見学レポートの改訂 | |
| — | 前期末試験 | 試験期間のため休講 |
| 15 | 授業のまとめ | |